

# 令和2年度 大雪に伴う秋田県災害警戒部会議（第1回）

日 時 令和3年1月4日（月）

17時10分～

場 所 秋田県災害対策本部室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

- (1) 今後の気象予報について
- (2) 雪による被害状況等について
- (3) これまでの対応について
- (4) 今後の対応について
- (5) その他

### 3 知事指示

### 4 閉 会

# 2021年1月7日から10日頃にかけての秋田県の大雪等のおそれについて

秋田地方气象台  
1月4日 県災害警戒部会議説明資料

## 秋田上空の気温予想

### <概況>

1月7日から8日頃にかけて、低気圧が発達しながら東北北部を通過し、その後強い冬型の気圧配置となるため、沿岸を中心に大荒れとなり、また暴風雪や大しけとなる見込み。雪雲の発達程度によっては、8日頃をピークに警報級の大雪になるおそれがある。

7日夜までに予想される24時間降雪量は、多いところで50～70センチの見込み。

その後も、10日頃にかけてさらに降雪量が増えるおそれ。

### <警戒事項>

大雪による交通障害や建物や農業施設への被害、猛ふぶきや吹きだまりなどの暴風雪による交通障害、高波に警戒・注意。また、屋根からの落雪、倒木や停電、山地におけるなだれ、路面や水道管の凍結に注意。

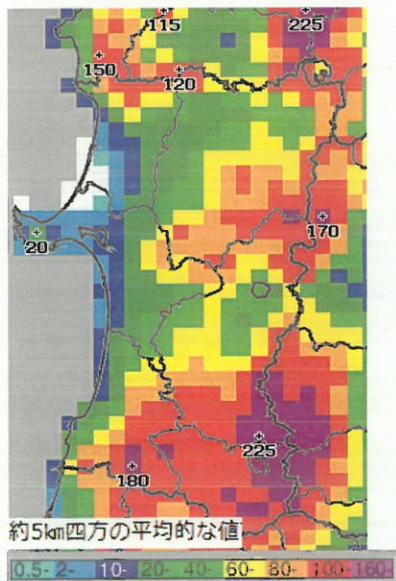
### 秋田 <気温>

上空	01/07				01/08				01/09			
	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21
約5000m	500hPa	-33	-36	-34	-42	-42	-42	-42	-42	-40	-37	-38
約3000m	700hPa	-17	-19	-22	-24	-28	-27	-26	-26	-25	-24	-23
約1500m	850hPa	-10	-9	-10	-13	-16	-17	-16	-16	-16	-15	-13

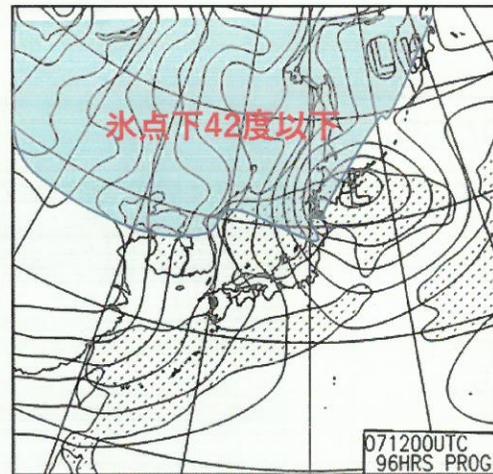
### 秋田 <平年差>

上空	01/07				01/08				01/09				
	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21	
約5000m	500hPa	-2	-5	-3	-10	-10	-11	-11	-10	-10	-9	-6	-6
約3000m	700hPa	0	-2	-5	-6	-10	-10	-10	-9	-8	-8	-7	-5
約1500m	850hPa	-1	0	-1	-4	-7	-8	-8	-7	-7	-7	-6	-4

解析積雪深 4日12時



1月7日21時予想地上天気図



早期注意情報（警報級の可能性）

秋田県	06日	07日	08日	09日
大雪	-	[中]	[中]	[中]
暴風 (暴風雪)	-	[高]	[中]	-
波浪	-	[高]	[中]	-

1月7日から8日頃を中心に、上空約5,000メートルに氷点下42度以下の強い（平年より10度以上低い）寒気が流れ込む見込み。

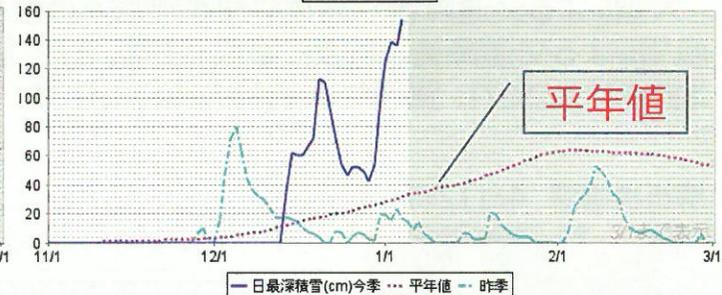
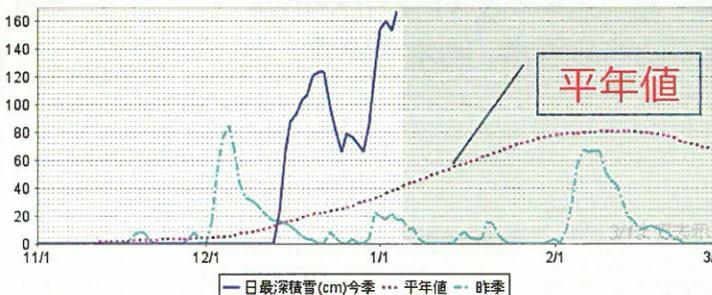
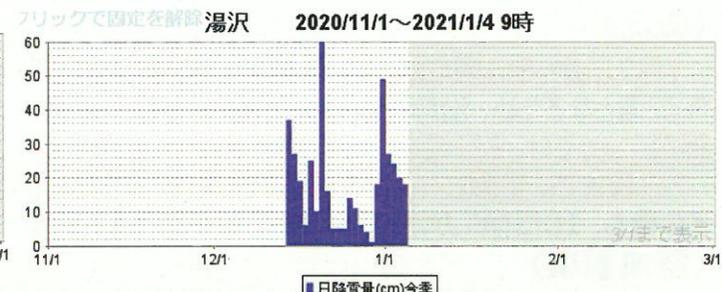
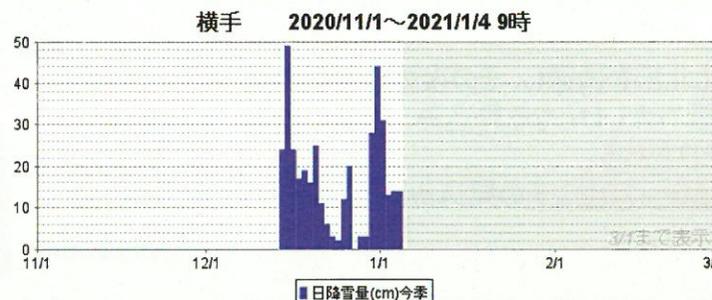
## 6日は、降雪は弱まる見込み。

1月4日11時 秋田県の週間天気予報

日付	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	
秋田県	雪時々止む	曇一時雪	風雪強い	曇時々雪	曇時々雪	曇一時雪	曇一時雪	
府県天気予報へ								
降水確率(%)	60/60/60/50	60	80	70	70	60	50	
信頼度	/	/	A	A	A	B	C	
秋田	最高(°C)	0	-1	2	-1	-2	0	2
	最低(°C)	-4	(-2~-1)	(1~5)	(-2~-2)	(-3~0)	(-2~-2)	(0~5)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
	秋田	平年並 21 - 31mm	最低気温	最高気温				
			-2.1 °C	3.2 °C				

# 秋田県の雪の実況（2021年1月4日09時現在）

秋田地方気象台  
1月4日 県災害警戒部会議説明資料



## 観測史上1位の極値を更新

24時間降雪量

横手 63 c m (2021/01/01 13:00)

48時間降雪量

横手 94 c m (2021/01/01 12:00)

湯沢 89 c m (2021/01/01 12:00)

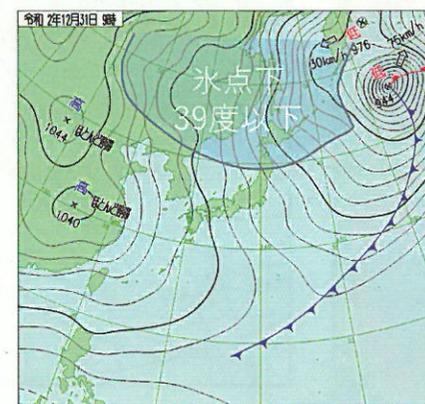
72時間降雪量

横手 111 c m (2021/01/02 06:00)

湯沢 107 c m (2021/01/02 11:00)

1月4日12時現在の積雪は、以下のとおり  
横手 173 cm (平年の4倍以上)  
湯沢 155 cm (平年の5倍以上)

**仙北平鹿・湯沢雄勝地域で、  
平年の4倍を超える大雪**となっています。



2020年12月31日 09時地上天気図  
(水色は上空約5千mの寒気)

冬型の気圧配置が強まり、秋田県の上空約5千mには氷点下39度以下の寒気が入り、大雪となった。

## 雪による被害状況等について

令和3年1月4日  
総合防災課

## 1 被害の状況

市町村名	人的被害					住家被害					非住家被害		
	計	死者	行方不明者	重傷者	軽傷者	計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
秋田市	2			1	1								
横手市	38	2		16	20	3			3			1	5
大館市	2				2								
湯沢市	20	1		12	7	1					1		1
由利本荘市	4	1			3								
潟上市	1			1		1			1				
大仙市	5			2	3								
北秋田市	3			2	1								
美郷町	1			1									
羽後町	5			1	4								
合計	81	4		36	41	5			4		1	1	6

## 【被害の概況】※死亡事案のみ記載

- (1) 12月19日発生：由利本荘市・80歳代・男性、除雪機の下敷きになったもの。  
(2) 12月20日発生：湯沢市・70歳代・男性、屋根の雪下ろし作業中に転落したもの。  
(3) 12月21日発生：横手市・20歳代・女性、軒下で除雪作業中に落雪に遭ったもの。  
(4) 1月2日発生：横手市・60歳代・男性、道路上において雪崩に巻き込まれたもの。

## 2 人的被害の態様別（原因）の内訳

区分	死亡	行方不明	重傷	軽傷	合計	前年同日			平成18年同日			平成27年同日			
転落	屋根等	1		17	13	31	2	3	+38	50	66	-25	23	33	+8
	梯子等			7	3	10	1			16			10		
除排雪	転倒等			5	13	18	2	3	+21	5	12	+12	5	10	+14
	除雪機等	1		2	3	6	1			7			5		
落雪	1		5	9	15	15			+15	16		-1	3		+12
雪崩	1				1	1						+1			+1
その他										2		-2	2		-2
合計	4		36	41	81	81	6		+75	96		-15	48		+33

## 【参考】年齢別

区分	死亡	行方不明	重傷	軽傷	合計	前年同日
65歳未満	1		18	18	37	2(+35)
65歳以上	3		18	23	44	4(+40)

## 3 農林被害の状況（令和2年12月28日11時現在）

被害額 123,683千円

農作物 16,258千円

市町村	被害農作物
横手市	菌床しいたけ、ほうれんそう
湯沢市	せり、ほうれんそう
羽後町	花き、小松菜
由利本荘市	ほうれんそう
大仙市	だいこん

栽培施設等 107,425千円

	被害状況					調査中	計	地域
	全壊	半壊	一部損壊	被覆のみ				
パイプハウス 農作業小屋 畜舎等	93	8	11	7	28	147	横手市、湯沢市、東成瀬村 美郷町、羽後町、大館市 由利本荘市、大仙市	

## 雪による事故防止対策等について

令和3年1月4日  
県民生活課

### 1 雪による事故防止のための情報提供及び普及啓発について

#### (1) 雪下ろし安全講習会の開催

各地域振興局で、警察や消防と連携し、安全な雪下ろし等に関する講習会を開催。(降雪期前に一部実施済)

#### (2) チラシ配布・ポスター掲示による広報

事故防止を呼びかけるチラシ・ポスターを市町村、スーパー・ホームセンター、民生委員協議会等の関係機関に送付し、事故防止への協力を依頼。(12月4日)

#### (3) 包括連携協定締結企業と連携した取組の実施

「雪の事故からあなたを守り隊」と称し、企業の社員が営業活動にあわせて、チラシ配布、車両へのマグネットステッカーの掲示、名札の着用、営業所等へののぼり旗の設置等による事故防止に関する県民への直接的な呼びかけを実施。

12月25日 9社参加の出動式を開催

#### (4) 各種広報媒体を活用した注意喚起

①県公式ツイッター及びフェイスブック(随時更新)

②県広報紙「あきたびじょん」(2021年1・2月号)

③デジタルサイネージを使用して、国交省の事故防止に関する動画を放映

(本庁舎・第二庁舎・鹿角・由利・平鹿) 12月～3月

④テレビCM(民放3局) 1/11～2/10(予定) 合計30回以上

⑤テレビ(あきたびじょんNEXT) 2/1、4、8

⑥ラジオ(秋田県からのお知らせ) 2/5 7:50～

⑦庁内放送 1/25～2/9(雪害事故防止週間) 16:00～

#### (5) 市町村・地域振興局・包括連携協定締結企業への注意喚起の依頼

今季初の雪害による死亡事故の発生を受けて、市町村・地域振興局・包括連携協定締結企業に対して、改めて、注意喚起や事故防止徹底への協力を依頼。

(12月21日)

(6) 「秋田県雪害事故防止週間」の設定

例年、1月中旬から下旬は雪下ろし等除排雪作業中の事故が多発する傾向にあることから、令和3年1月23日（土）から1月31日（日）までを期間として「秋田県雪害事故防止週間」を設定し、様々な媒体を活用し、集中的に安全対策に関する普及啓発活動を実施する。

例 県内商業施設において、県民へのチラシ配布による啓発を実施。

①令和3年1月26日（火） ワンダーモール（仙北市）

②令和3年1月27日（水） いとく能代南店（能代市）

## 2 地域が一体となった雪対策の推進等について

(1) 除排雪団体の立ち上げ等の支援

高齢者世帯等を支援するため、住民同士の協力により除排雪を行う除排雪団体の立ち上げや活動の支援を行う。（今年度4団体 累計50団体設立済）

(2) 雪対策連絡協議会の開催

地域振興局ごとに市町村、社会福祉協議会、警察、消防等の関係者が、雪対策の取組や課題等を協議する。

(3) ボランティア活動の推進

県庁職員が除雪を行う「県庁除雪ボランティア隊」を設置するとともに、商工団体、事業所、高校等にボランティア活動への参加促進の呼びかけを行う。

(4) 除排雪活動の新たな担い手の確保・育成

除排雪団体の取組の紹介など除排雪支援について考えるイベントを開催する。

（1月31日）

(5) 雪捨て場としての県管理用地等の活用

雪捨て場として提供可能な県管理用地等に関する情報を一元的に収集の上、市町村へ提供し、雪捨て場不足の解消に努める。

## 年末年始の道路除雪状況等について

R 3 . 1 . 4  
建 設 部

## 1. 降雪・積雪の状況

- ・降雪量は、全県平均では例年（5か年平均）より若干多い  
県南部で多くなっており、横手で例年の1.4倍、湯沢で1.5倍
- ・短期間で降雪が連続したため、積雪量が急に増えており、  
横手、湯沢で積雪量が約170cm、例年の4倍以上

(1月4日午前8時現在)

## 2. 除雪体制

- ・秋田道など、高速道路の通行止めに当たっては、東北地方整備局、ネクスコ東日本及び隣県と連携して対応
- ・通行止めの予定時間前に、迂回路となる県管理道路（国道107号）  
やICのアクセス道路の状況を確認して、広域交通を確保

## &lt;年末年始の県内高速道路の通行規制&gt;

- ・秋田道 通行止め3回、延べ31時間
- ・湯沢横手道路 通行止め1回、延べ36時間

- ・県南を中心に大雪となっており、今後も降雪が予想されるため、道幅が狭くなっている箇所については、順次、拡幅除雪・排雪作業を進めていく

- ・県発注工事の受注者が地域の除排雪作業に優先的に取り組むことができるよう、必要に応じて、工事の一時中止や工期の延長等、柔軟な対応に努めることを発注機関や事業者団体等に対して通知

(令和2年12月21日付け)

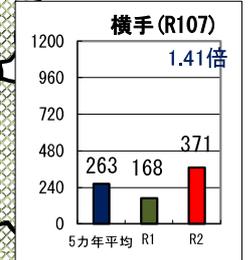
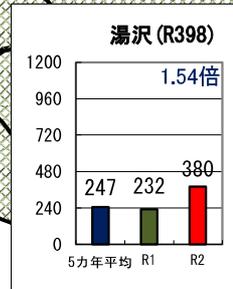
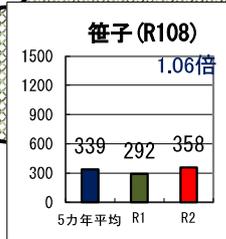
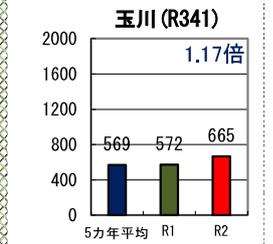
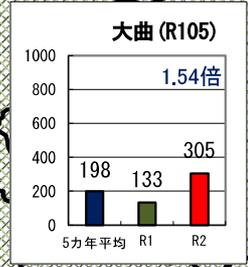
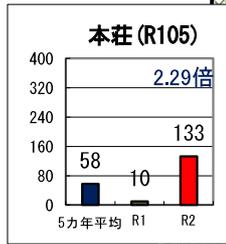
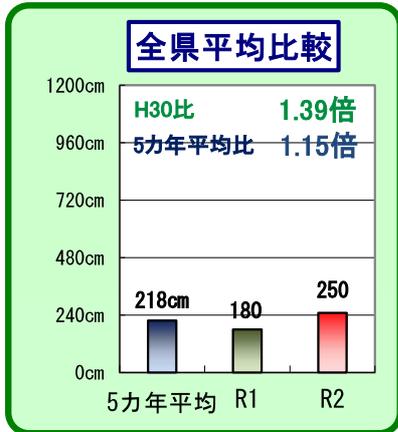
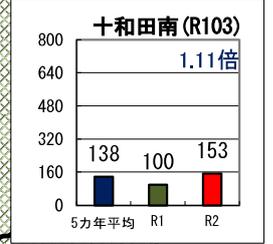
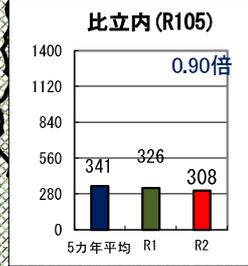
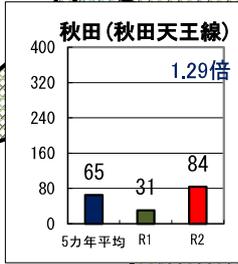
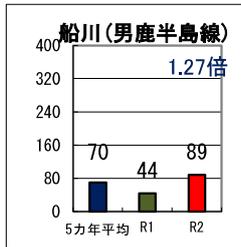
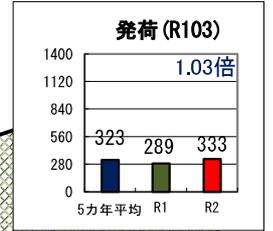
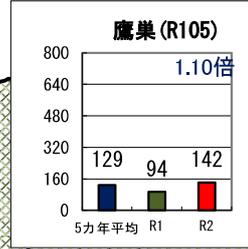
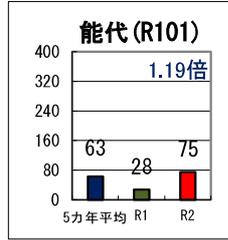
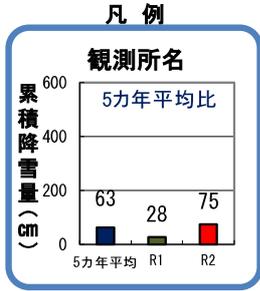
## 3. 市町村への支援

- ・1月2日に発生した横手市増田町狙半内地内の市道沿いの雪崩に対し、翌3日に県から専門家（防災点検業者）を派遣し、同箇所付近を調査し、再度雪崩が発生しないよう助言
- ・雪捨て場が不足している横手市に対して河川敷を提供

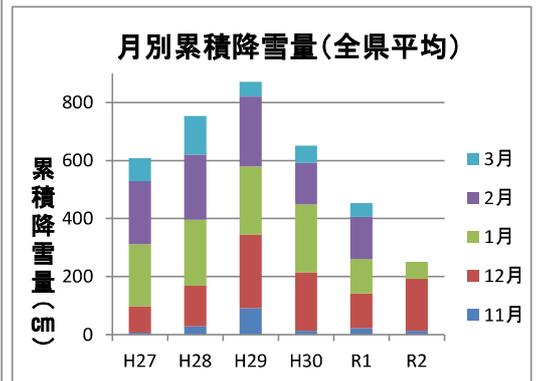
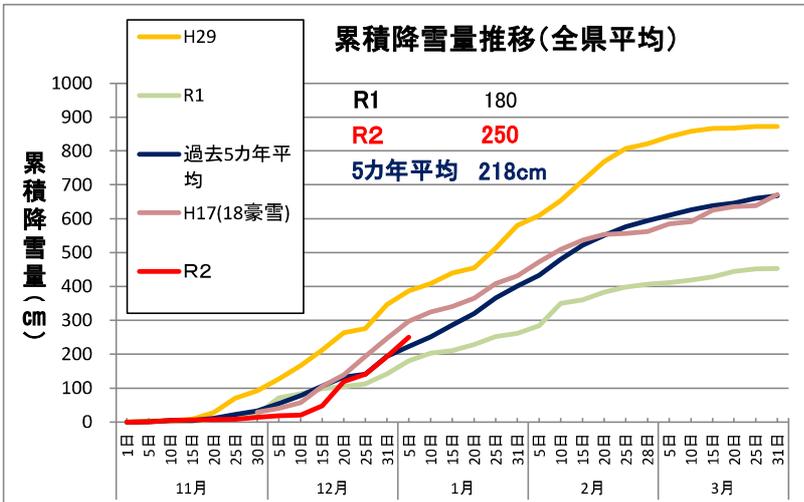
# 主な観測地点における累積降雪量の過去5カ年平均との比較

令和3年1月4日午前8:00現在

道路課



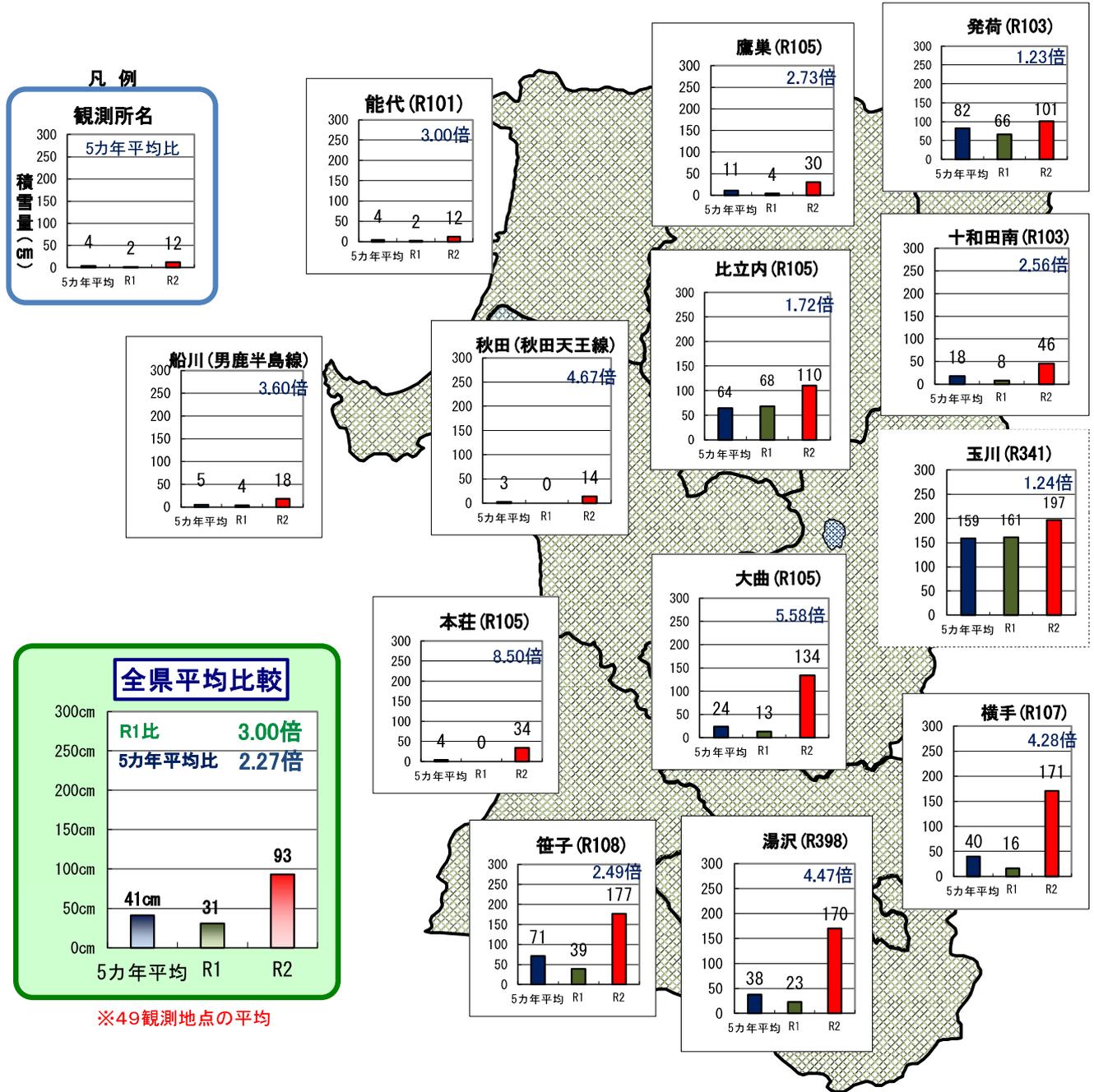
※49観測地点の平均



# 主な観測地点における積雪量の過去5年平均との比較

令和3年1月4日午前8:00現在

建設部道路課



## 今冬の大雪による農林水産被害の状況について

令和3年1月4日  
農林水産部

### 1 被害状況

- 平鹿、雄勝管内を中心に、12月14日からの大雪により、栽培施設の損壊等の被害が発生した（被害額124百万円：12/28現在）。
- これに加え、12月31日からの大雪により、園芸用パイプハウス等の損壊が新たに発生している。
- 果樹については、おい化りんごの下枝の枝折れが広い範囲で確認されている。

※ 積雪のため現場確認ができない所が多い状況

### 2 今後の見通し

- 今冬の大雪は、過去の豪雪年と比べても積雪量の増加スピードが早く、除排雪作業が追いついていない施設や樹園地等が多いことに加え、1月7日頃から再び寒気の流入が予想されており、大きな被害につながりかねない状況である。

### 3 今後の対応

- 市町村やJAと連携し、まずは被害の軽減に向け、樹園地等の除排雪について指導するとともに、被害状況を把握し、必要な対策について検討する。